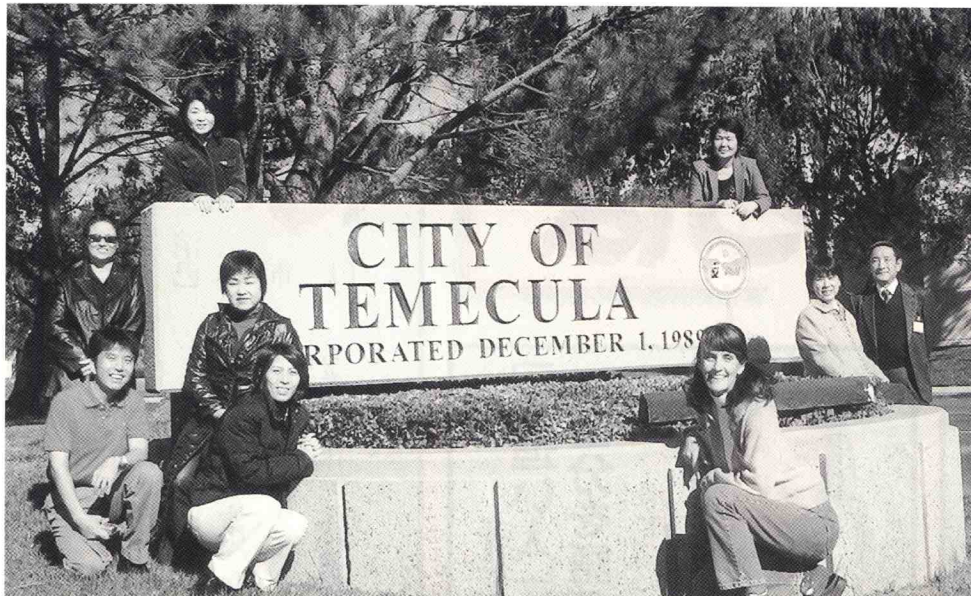


テメキュラ市を訪問して

訪問団長 遠藤 幸子

11月29日から12月7日まで、米国カリフォルニア州テメキュラ市での視察・交流を行った。
 テメキュラ市とは、平成6年5月に旧中山町と

姉妹都市縁組を結び、ほぼ毎年相互に訪問し、ホームステイをしながら、文化交流を続けて来た。今回は「お茶」をテーマに、日本文化の披露と普



テメキュラ市役所の前で（一番後ろの右側が筆者）



及活動が目的であった。

私は、米国の訪問も初めて、ホームステイも初めてなので少々不安を感じながらの渡米であった。弁護士のリバーグさんのお宅に、5泊お世話になったが、ホストファミリーの生活を体験させていただくのが目的であるので、特別扱いではなく、自然体で米国の日常生活を味わえた6日間であった。

■訪問・視察

市役所訪問・オールドタウン・歴史博物館・日本庭園見学・マルガリータミドルスクール視察。今年の3月には中学生が日本を訪問予定。子どもミュージアムは、おもちゃで遊ぶだけでなく、ゲーム感覚で体験できるコーナーとか、古い家庭用品を使って学習するコーナーがあった。子どもも大人も楽しめる施設。

大型ショッピングセンターでは、一商品の量の多さに驚き、価格の安さにはうらやましい限り。

シニアセンター訪問で、日本文化の紹介。30名ほどの参加者に抹茶の点前

テーブルを囲んで抹茶のお点前



かぶと 兜をかぶってポーズ

を披露。全員に抹茶を味わってもらった。折り紙では兜の作り方を指導。ビンテージヒルズ小学校訪問。図書室には壁が無く、広いフロアで静かに本を読んでいるのに

は感心。警察署見学、警察犬の訓練、パトカーの中の説明等、サーピスの良いのには驚いた。

クリスマスパレード参加、緋に赤いたすきの茶つみ娘(?)スタイル。パレード中、沿道から大歓迎を受けた。テメキュラ市主催のパーティーも開いていただいた。市長、国際交流協会の皆さん、沢山の人の歓迎には今までの交流の深さを感じたひとときであった。

最終日、ホストファミリー宅で、日本から持参した、ちらし寿司、お好み焼き等を作って食べながら、日本の話に花が咲いた。

今回の目的であったお茶や折り紙での交流は、時間的には十分でなかったが、参加の人たちは楽しんで下さった。ホストファミリーの人たち、今回お世話になったたくさんの人たちとの交流が今後も続くことを願いながら、テメキュラ市を後にした。